

令和7年度 事業方針

兵庫県子ども会連合会（以下：県子連）は、子どもたちを取り巻く社会環境がめまぐるしく変化・複雑化していく中で、子どもたちが自ら「生きる力」を身につけ、地域の新しい担い手となるよう、地域と共に子ども会活動を通して子どもたちの「成長」「見守り」「支援」などの地域社会に根差した活動に取り組んできました。

しかし、少子高齢化問題・急激な情報化の進歩や未曾有の自然災禍によって、社会生活を脅かされることにより地域のつながりの希薄化に拍車がかかり、本来ゆるやかで豊かであるべき子どもたちの成長過程に多大な影響を及ぼし、子どもたちを取り巻く環境の大きな変化によって、活動のあり方自体が揺らぐなどの要因で会員数は減少傾向となっています。しかし、大人になるまでの成長過程に必要な「生きる力」は「子ども会活動＝体験格差解消」によって育まれると言っても過言ではありません。

本年度は、子ども会の未来の役割を考えつつ、この時代に適した活動とは何かを模索していきます。元となる単位子ども会、またそれを支える各市・町子ども会、県民局ブロック子連が求めるものを提供できるように取り組みます。

現在の会員数の減少は、今に始まったことではなく、各種団体が一番取り組まなければならない問題であり、一番進まない問題でもあります。しかし、今年で阪神淡路大震災が起きてから30年の節目となりますが、あの時に感じた人の温もり、そこにあった「人の繋がり」が希薄化して忘れられております。そこで今一度、忘れかけた記憶を辿りながら、子どもたちのより所となる県子連を目指し、支援の取り組みを推し進めます。

県子連は、「子ども会」を通して、子どもたちが夢のある明るい未来を築き、いきいきと育つ地域づくりを目指すために、次の8つのテーマに取り組みます。

兵庫県子ども会連合会のテーマ

1. こどもまんなか事業への取り組みを推し進めます。
2. 会員の増加を目指し、現状把握し調査・研究を推し進めます。
3. 子ども会育成会の充実に向け、育成者支援の取り組みを推し進めます。
4. 子ども会の活動振興に向け、ブロック子連（市・町子連）を支援し、関係諸団体や企業などと連携強化に努めます。
5. 安全教育を推進し、安心して安全な活動づくりを実現します。
6. 体験格差解消と子どもの身心の成長や健康を学ぶ機会を提供するために、更なる体験活動を推し進めます。
7. ジュニアリーダーの育成を推し進めます。
8. 全国子ども会連合会及び近畿地区子ども会連絡協議会の取り組みを推奨します。